



診療科紹介 呼吸器内科

高松市立みんなの病院となり、約1年半が経過し、開院当初に比べ落ち着いてきました。呼吸器内科は、医師3名ですが、外来、入院とも患者数が多く、忙しくしております。呼吸器外科や内科の先生方に協力いただきながら仕事をしているのが現状です。

呼吸器疾患で多いのは、呼吸器感染症、COPD、喘息、呼吸不全、間質性肺炎、肺癌、睡眠時無呼吸症候群などです。

呼吸器感染症の中でも多いのは、超高齢社会を反映し誤嚥性肺炎です。施設入所者が多いですが、できるだけ受け入れるようにしております。また、当院は第二種感染症指定病院なので、陰圧の感染症病室を6床、重症患者に対応できるようHCUに1床、陰圧室があり、救急外来にも陰圧の診察室が1室あります。最近話題の新型コロナウイルス疑いの患者さんにも、保健所と連携して対応することとしております。

COPD、喘息の診断には欠かせない呼吸機能検査機器は、最先端の機器をそろえています。気道抵抗や残気量を簡単に測定できるbody box、呼吸抵抗などが測定できるIOS、肺拡散能や呼気NOを測定できる機器などがあり、診断と治療効果判定に利用しています。

COPDや間質性肺炎などによる慢性呼吸不全に対して、在宅酸素療法や在宅人工呼吸を積極的に行っています。COPDの急性増悪、肺炎や間質性肺炎による急性呼吸不全には、HCUで人工呼吸療法を中心に集中治療が可能です。急性期から慢性期まですべての呼吸不全に対応しております。

新病院になり、PET-CTが導入され、肺癌の診断、病期の評価に利用しています。診断には、通常の気管支鏡のみならず超音波気管支鏡も用いて、肺生検に加えて、縦郭リンパ節生検も行い、診断の精度を高めています。治療は、外科療法、化学療法、免疫療法、放射線療法など通常の治療はすべて行うことができます。

睡眠時無呼吸症候群の診断に用いるポリソムノグラフィーは、週2回行っています。睡眠時無呼吸症候群疑いの患者さんがいれば、当院で検査可能なので是非ご紹介下さい。

	月	火	水	木	金
午前	河野	岸本 再診・再来予約のみ	河野 CPAP/禁煙外来 (要予約)	岸本	塚崎
					岸本
午後		岸本		岸本	岸本

診療科紹介 呼吸器内科

当院には慢性呼吸器疾患看護認定看護師が1名おり、週に1回、看護外来として、睡眠時無呼吸症候群の患者さんのCPAP外来や禁煙外来を担当しています。また、呼吸療法認定士の資格をもつ職員が十数名おり、呼吸サポートチーム（RST）として医師とともに、毎週、人工呼吸器を使用している患者さんの回診をしています。さらに、毎年10月には、在宅酸素療法などを行っている患者さんを中心に、「いきいき遠足」と名付けて、バスで日帰りの旅行をしています（写真）。医師、看護師、薬剤師、理学療法士、臨床工学士、検査技師、栄養士などの多職種が参加しています。普段出かけることが難しい患者さんが多いので、小旅行ではありますが、喜ばれております。

当院の呼吸器内科は、少ない医師を多職種で支えていただくことで成り立っています。微力ではありますが、地域医療に貢献したいと考えていますので、今後とも御支援よろしく願いいたします。

（文責 岸本 伸人）



病院機能評価の更新認定を受けました



2020年1月6日付で、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価（一般病院2 3rdG：Ver2.0）の認定を受けました。

当院は、2014年に、病院機能評価の認定を受けており、今回は更新認定となります。認定期間は5年間で、病院の新築移転のため、更新の受審を延期しておりましたが、2019年に遡っての特例措置が適用され、3度目の認定となりました。

本評価で指摘を受けた事項については真摯に改善を行ないながら、今後も医療の質と向上を図り、地域の皆様方の信頼と期待に応えられるよう努めてまいります。

病院機能評価について

病院機能評価とは、（公財）日本医療機能評価機構が所定の評価項目により、病院の活動（機能）を、中立的、科学的・専門的な見地から評価する第三者評価です。「書面審査」及び「訪問審査」を通じて、全ての評価項目において認定基準を達成していると認められた病院に対しては、「認定証」が発行されます。